



しだ光保県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

圏央道開通効果を銚子まで!

6月県議会一般質問に登壇

書を受けた観光業の振興、厳しい経営状況に陥っている銚子電鉄に対する県の財政支援などを求め、地域の声を代表して強く訴えました。

銚子市選出で県議会でも中堅議員として次第に存在感を高めている信田光保(しだ・みつやす)県議は、6月定例県議会の一般質問に再び登壇しました。信田県議は、圏央道の木更津―東金間の開通による経済効果を銚子地域へ誘導するため、懸案の銚子連絡道路の整備促進をはじめ、大震災で風評被害を受けた観光業の振興、厳しい経営状況に陥っている銚子電鉄に対する県の財政支援などを求め、地域の声を代表して強く訴えました。



6月議会で一般質問に登壇する信田県議

銚子連絡道の整備を要望 連休中の交通量24%増加

した。銚子連絡道路は、山武・東総地域にとつて、唯一の県都二時間構想を実現する主要な道路であります。現在、横芝光方面からの整備だけでなく、銚子市側からも国道126号八木拡幅事業として進められています。そこで伺います。圏央道開通後の銚子連絡道路の利用状況はどうか。

県土整備部長 今般、圏央道の東金・木更津間の開通により、東京都心や神奈川県などから東京湾アクアラインを経由して、銚子連絡道路の終点である横芝光インターチェンジまで、高速道路により直結し、大幅にアクセスの改善がなされました。

その結果、大型連休中の銚子連絡道路の交通量は、前年比24%増の6千2百台となり、また、銚子市内の主要な観光施設においても、前年比3割を超える入り込み客数があったと聞いております。

先月29日、銚子市において第15回となる銚子連絡道路の早期完成を願う整備促進大会が開催され、約6百人を超える関係者が集まりました。

用地取得体制を強化!

信田議員 国道126号八木拡幅の進捗状況と今後の進め方はどうか。
県土整備部長 国道126号八木拡幅は、銚子連絡道路の一部として、銚子市から旭市に至る延長5・7キロの道路事業であり、圏央道にアクセスする大変重要な幹線道路です。
現在、旭市側3キロのバイパス区間について、優先的に整備を進めており、平成24年度末での用地取得状況は、面積ベースで約6割となっています。

今年度、用地体制を強化したところであり、今後、地元関係者の協力を得ながら、残る用地の早期取得を図るなど、事業推進に努めます。

●県政や銚子市のご相談をお気軽にお寄せください...

しだ光保事務所

〒288-0044 銚子市西芝町13-20 Jビル2F
TEL. 0479(25)3284 FAX. 0479(22)1816

東総地域から北総地域における重要な幹線道路である国道356号においても、銚子バイパスの整備が進められているところであり、一部供用しておりますが、一層の事業進捗を強く要望します。



第15回銚子連絡道路の整備促進大会であいさつする信田県議

請要支援の目 銚子電鉄

信田議員 先月30日、銚子電鉄側が銚子市に支援要請したことを受け、銚子電鉄のあり方を検討する第1回の協議会が開かれました。喫緊の課題として、8月の更新時期が迫った老朽化車両の買い替えが間に合わず、このままでは運行に支障をきたす可能性も出てきたため、対策が急務となっています。

そこで伺います。経営の厳しい県内の中小鉄道に

運行の維持、存続は重要

し、県はどのような支援を行っているのか。

総合企画部長 県内中小鉄道は、いずれも厳しい経営状況にあります。住民生活に不可欠なほか、地域の産業、観光振興の重要な担い手であり、運行の維持、存続は極めて重要だと考えています。このため、県では、国や関係市町と協調して、経営基盤が弱い弱な中小の鉄道事業者が行なう車両更新等に対する補助を行なっており、平成24年度は、いすみ鉄道と流鉄に対して補助したところです。

信田議員 銚子電鉄は震災後、利用者が大幅に減少し、平成18年の経営危機に続く、第二の危機に直面するのではないかという危惧があります。支援の方法ですが、全国には一市町村内のみを走る鉄道でも、協調補助されています。

総合企画部長 中小鉄道に対する県の補助事業では「二つの市町村内のみを運行する鉄道事業者」は、補助の対象外とされています。銚子電鉄は地域の足であり、県の貴重な観光資源を注視してまいります。

補助を行なうことができないのか。

総合企画部長 銚子電鉄や地元商工関係団体等で構成する「銚子電気鉄道運行維持対策協議会」が、本年4月に発足しましたが、議論はまだ始まったばかりであり、まずは、その動向や銚子市の考え方を注視してまいります。

であることも事実です。



現場で銚子電鉄の関係者から話を聞く信田県議(中央)

信田県議の要望

銚子電鉄は震災後、利用者が大幅に減少し、平成18年の経営危機に続く、第二の危機に直面するのではないかという危惧があります。支援の方法ですが、全国には一市町村内のみを走る鉄道でも、協調補助されています。

いるところもあります。県の補助要件を緩和することでも支援になります。

ほかに中小企業の経営支援の面からの支援も考えられます。利用者を増やすという側面から、観光振興に力を入れるなど、県としてできることがいくつかあるかと思っています。地元銚子市長は、所信表明で「具体的な財政支援を決定したい」と表明しています。国の今後の補助金は、協調補助しているところを優先して補助を行なうと聞いています。

信田議員 問もなく夏本番を迎え、海水浴客や花火大会、夏祭りなど各地でイベントが予定されています。圏央道の開通効果を生かすためにも、各地域が観光客の誘致にしっかり取り組み、地域の活性化につなげてい



再質問に立つ信田県議

震災から観光客が回復か

信田議員 あの大震災から2年3カ月が経過しました。銚子市内では、何よりも大きな影響を受けたのは、放射能等への根拠のない風評被害だったかと思っています。震災以来観光客が減少し、ホテルや旅館などは厳しい経営状況に陥ったところも多く出ておりました。

信田議員 問もなく夏本番を迎え、海水浴客や花火大会、夏祭りなど各地でイベントが予定されています。圏央道の開通効果を生かすためにも、各地域が観光客の誘致にしっかり取り組み、地域の活性化につなげてい

はとバス運行

信田議員 問もなく夏本番を迎え、海水浴客や花火大会、夏祭りなど各地でイベントが予定されています。圏央道の開通効果を生かすためにも、各地域が観光客の誘致にしっかり取り組み、地域の活性化につなげてい

要望 ナショッパは、県の農産物や観光

アンテナショップで誘客

信田議員 東京でのアンテナショップの設置について、検討状況はどうか。

商工労働部長 県はこれまで、その効果や経営状況を検討してきました。その結果、地域ブランドの確立や都道府県の知名度の向上などで一定の効果発揮しているもの、都心に立地することから年間1億円を超える運営費がかかるなどの事例も見受けられました。

要望 ナショッパは、県の農産物や観光



アンテナショップを視察する信田県議

夏の観光キャンペーンで期待!